

「山梨県総合計画」(改定版)(素案)

県民意見提出制度による提出意見とそれに対する県の考え方

No.	箇所	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
1	第1章 計画策定の基本的な考え方 1 計画策定の趣旨	ジェンダー平等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においては、非正規労働問題、女性の貧困、自殺などが増加した。 ・総合計画の見直しには、「ジェンダー平等」の視点をもっと明確に掲げることで、選ばれる山梨に近づくと考える。 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2章長期的展望の3基本理念(3)取り組みの方向性において、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、子育てや介護などの家庭事情等に関わらず、生涯を通じて活躍でき、誰もが生きがいを感じ、様々な豊かさを追求できる社会づくりを目指すこととしています。 ・この中に、SDGsにおけるジェンダー平等の考え方が含まれています。 ・なお、男女共同参社会の実現に向け、ジェンダー平等の視点についても、審議会等で議論を行って参ります。
2	第2章 長期的展望 3 基本理念 (2)「豊かさの実感」に向けて		<ul style="list-style-type: none"> ・これから更に求められる豊かさについては、信頼 安全 安心の土台としてジェンダー平等社会を記載する。 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼・安全・安心は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、心身の健康や収入・資産の増加などに加えて、今後求められる豊かさに追加したものです。 ・ジェンダー平等社会に関しては、第2章長期的展望の3基本理念(3)取り組みの方向性において、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、子育てや介護などの家庭事情等に関わらず、生涯を通じて活躍でき、誰もが生きがいを感じ、様々な豊かさを追求できる社会づくりを目指すこととしています。 ・この中に、SDGsにおけるジェンダー平等の考え方が含まれています。
3	第2章 長期的展望 4 2040年の山梨県の将来像 (6)人口の将来展望(人口ビジョン)		<ul style="list-style-type: none"> ・2040年の山梨県の将来像の(6)人口の将来展望(人口ビジョン)「人々の暮らしぶり」に、ジェンダー平等社会になっている (DV被害や児童虐待などの暴力のない社会になっている)ことを追記する。 	1	<p>【反映困難】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、本県における人口減少の要因となっている課題を解消した姿を記載しています。
4	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系		<ul style="list-style-type: none"> ・本計画の見直しを機に、山梨県男女共同参画計画の更なる推進を期待する。 ・ジェンダー平等なくして「感染症に対して強靱な社会」は実現できません。 	1	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画の見直しを機に、すべての部門計画の推進を図って参ります。
5	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系		<ul style="list-style-type: none"> ・部門計画の戦略2に男女共同参画計画を追加する。 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章アクションプランの1基本理念実現のための政策体系において、戦略3に男女共同参画計画を記載しています。 ・他の部門計画と同様に、複数の戦略に取り組みがある場合、最も関係する戦略に記載しています。
6	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (1)感染症の世界的大流行(パンデミック)による社会の変容 (4)誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革		新たな生活様式	<ul style="list-style-type: none"> ・「イベントや外食といった直接接触・対面活動の減少などの行動の変化が生じています」とあるが、行動の前に「ニューノーマル(新しい生活様式)と呼ばれるような」を挿入する。 ・「社会保障制度の基盤強化を進め、「新たな日常」を支える社会保障を構築し」とあるが、「新たな日常」を「ニューノーマル(新たな生活様式)」に変更する。 	1

No.	箇所	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
7	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (4)誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革	女性の活躍推進	・「新型コロナウイルス感染症の拡大は、女性の雇用に深刻な影響を与えており」とあるが、「女性」の前に「特に」の文字を入れる。そうでなければ女性だけを特別扱っているように読める。	1	【修正加筆等意見反映】 ・第2章長期的展望の1時代の潮流と山梨県の現状(4)誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革の内容において、以下の語句に修正します。 「特に女性の雇用」
8	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (4)誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革	健康予防の重要性	・「健康予防の重要性」は、感染予防または健康増進・疾病予防を意図しているか。	1	【修正加筆等意見反映】 ・第2章長期的展望の1時代の潮流と山梨県の現状(4)誰もが活躍できる社会づくりと社会保障制度の改革の内容において、以下の語句に修正します。 「健康増進・疾病予防の重要性」
9	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (5)地球温暖化への対応と持続可能な開発目標(SDGs)	SDGsとジェンダー	・次世代・女性のエンパワメントを3つの柱として掲げ、取り組んでいくこととありますが、SDGsが目指すジェンダー主流化を掲げるのであれば、その意思が明確になるように、「ジェンダー平等と女性のエンパワメントを掲げ、取り組んでいくこととしました。」に修正する。	1	【反映困難】 ・ここでは、国が策定した「SDGsアクションプラン2018」における3つの柱を記載しています。
10	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (6)安全な暮らしの確保	災害時の生活環境の確保	・災害の対応について、「必要となる事業規模等を定め、重点的・集中的に対策を講ずる」とあるが、重点的・集中的の前に「TKB48(トイレ、キッチン、ベッドを48時間以内に確保)を実施するなど」の文言を追加する。	1	【実施段階検討】 ・第3章アクションプランの1基本理念実現のための政策体系戦略5快適「やまなし」構築戦略政策2災害に強い強靱な県土づくりにおいて、災害発生時の対応力の強化を図ることとしており、災害時における生活環境の確保については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
11	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (6)安全な暮らしの確保	自殺、DV被害及び児童虐待の防止	・犯罪などの社会的側面では、コロナ禍におけるDV被害、児童虐待の増加等も記載する。	1	【記述済み】 ・第2章長期的展望の1時代の潮流と山梨県の現状(6)安全な暮らしの確保において、配偶者からの暴力事案や児童虐待事案などが発生している現状を記載しています。
12	第2章 長期的展望 4 2040年の山梨県の将来像 (5)快適な生活空間		・2040年の山梨県の将来像の(5)快適な生活空間に、コロナ禍における自殺、DV被害、児童虐待問題の深刻化について記載する。	1	【記述済み】 ・第2章長期的展望の4 2040年の山梨県の将来像(5)快適な生活空間において、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、様々な社会的な課題に対して、地域で活動している団体等と連携し支え合い、安心して生活できる環境を整えるとしています。
13	第2章 長期的展望 1 時代の潮流と山梨県の現状 (8)人口減少抑止への挑戦と地方創生 第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略 第3章 アクションプラン 3 計画の推進 (2)まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取り組み	地域活性化の推進	・まちの活性化について、リニア開業まで先延ばしにしない。 ・甲府駅周辺を地域活性化させるため、舞鶴城公園をはじめ史跡文化財などを活用するとともに、日常のまちの賑わいにもっと着目して公共空間の利活用の推進、活動の後押しをすべきである。 ・「山梨県地方創生推進計画」を立案し、財源を確保するための「ふるさと納税」「企業版ふるさと納税」を活用し、地域再生に取り組むべきである。	1	【実施段階検討】 ・第3章アクションプランの1基本理念実現のための政策体系戦略1攻めの「やまなし」成長戦略の取り組みでは、文化財を含む地域資源の活用により県内経済を潤す好循環を作るため、甲府城跡の保存と活用、周辺整備を進め、中心市街地の賑わいの創出や活性化を図ることとしております。 ・日常のまちの賑わいに着目した公共空間の利活用の推進については、甲府市中心市街地が活性化できるよう、施策・事業の実施の際の参考にさせていただきます。 ・また、ふるさと納税や企業版ふるさと納税を有効に活用し、地域再生等に努めて参ります。

No.	箇所	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
14	第2章 長期的展望 2 山梨県の可能性と課題 (2)山梨県の課題	ジェンダー平等及び多文化共生社会の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県は「性差別を許さないジェンダー平等を進める県」であることを明示してほしい。 ・多様性とジェンダー平等を進める県であることは、平和で安心できる信頼できる県のイメージの構築を図ることになる。 ・県の課題の社会面に以下の2項目を追加する。 (1)ジェンダー平等の促進 (2)多文化共生社会の促進 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー平等及び多文化共生社会の促進に関しては、課題も踏まえ、第2章長期的展望の4 2040年の山梨県の将来像(3)多様性が強みとなる共生社会において、性別や年齢、国籍などにかかわらず、誰もが社会の担い手として、職場や地域で活躍できるよう取り組む旨を記載しています。
15	第2章 長期的展望 3 基本理念 (2)「豊かさの実感」に向けて (3)取り組みの方向性	ジェンダー平等・人権教育の進展	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自殺率は女性だけでは世界で3番目であり、ジェンダー平等社会へのアクション・政策の強化が必然である。 ・また、子ども若者の幸福度も低く、生活の安定、学校安全の改善、悩みを相談しやすい体制づくりなど多くの対策が求められる。 ・県においては、少人数学級の実現を機会に、ジェンダー平等・人権教育の進展を望む。 ・戦略2次世代「やまなし」投資戦略にジェンダー平等教育を推進することを記載する。 	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2章長期的展望の3基本理念(3)取り組みの方向性において、年齢、性別、障害や疾病の有無、国籍、子育てや介護などの家庭事情等に関わらず、生涯を通じて活躍でき、誰もが生きがいを感じ、様々な豊かさを追求できる社会づくりを目指すこととしており、ジェンダー平等・人権教育の進展については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
16	第2章 長期的展望 3 基本理念 (3)取り組みの方向性	ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「山梨が未来に向かって発展していくためには、県庁が中心となって、新たな施策に積極的にチャレンジしていく」とあるが、新たな施策の前に「ICTを活用した会議体など」を挿入する。 	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県では、山梨県デジタルトランスフォーメーション推進計画を策定し、行政のDXを推進することとしており、ICTを活用した会議については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
17	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略3 活躍「やまなし」促進戦略 政策1 誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備	ジェンダー平等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「働き方改革を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けた意識改革や」とあるが、男女共同参画社会の実現の前に「ジェンダー平等」を挿入する。 ・「男性も女性もはたらきやすい」という表現をLGBTQも含むよう「男性も女性も含めた全ての人が働きやすい職場環境づくり」という表現にしてはどうか。 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の中にSDGsにおけるジェンダー平等の考え方が含まれています。 <p>【修正加筆等意見反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章アクションプランの1基本理念実現のための政策体系戦略3活躍「やまなし」促進戦略政策1誰もが個性や能力を発揮できる環境の整備の内容において、以下の語句に修正します。 「誰もが働きやすい職場環境づくり」
18	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略4 安心「やまなし」充実戦略 政策1 感染症に対して強靱な社会づくり	感染症対策に関する連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・「感染症対策の専門機関を中心とした体制を整備し、医療機関などの関係機関との連携・協働のもと」とあるが、連携・協働の前に「県民と」を挿入する。 	1	<p>【記述済み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関などの関係機関は、感染症対策における専門機関の実務上の連携・協働先として例示したものです。県民の皆様との協働は、パートナーシップの図に示し、位置付けています。
19	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略5 快適「やまなし」構築戦略 政策1 産業・生活を支える交通・通信インフラの充実	リニア開業による地域活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア開業に際して、インフラ構築と並行して県外からのヒトの流れに対しても取り組むべきである。 ・リニア開業に際して、交通・通信インフラの充実に向けた整備も重要ではあるが、甲府駅前の再整備と合わせて回遊観光プランの計画など魅力的かつ活気のある街並みの整備を急ぐべきである。 	1	<p>【実施段階検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・甲府駅の駅前広場については、「歩行者にやさしい山梨らしさが感じられる広場づくり」をコンセプトに整備し、賑わいの創出を図っています。 ・また、多様化する旅行者のニーズなどに対応するため、歴史や文化を活用して魅力のある周遊ルートの開発を推進しています。 ・街の活性化については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。

No.	箇所	項目	意見の内容(概要)	意見数	県としての考え方
20	第3章 アクションプラン 1 基本理念実現のための政策体系 戦略5 快適「やまなし」構築戦略 政策2 災害に強い強靱な県土づくり 政策3 良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくり 3 計画の推進 (3)持続可能な開発目標(SDGs)の視点と政策体系の関係	SDGsと災害対策	・計画の中に、SDGsを主体的に取り組む組織が見当たらず、成果の検証ができないものになるのではないか。 ・災害時における災害ボランティアなどの取りまとめなど横ぐしの関係づくりが必要である。 ・SDGsの組織づくりが災害時にも役立つものとする。	1	【実施段階検討】 ・SDGsの考え方は、総合計画の基本理念と方向性を同じくし、計画の推進にあたっては、政策体系との関係性を整理しながら取り組むこととしており、成果の検証については、施策の成果指標の達成状況により確認しています。 ・災害時における関係機関との連携については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
21	第3章 アクションプラン 2 行財政改革の取り組み 取組1 スマート自治体の構築と課題解決のためのチャレンジの実践	スマート自治体の構築	・「最新のICTを最大限に活用するスマート自治体の構築や」とあるが、スマート自治体の前に「会議体の活用などの」を挿入する。	1	【実施段階検討】 ・県では、山梨県デジタルトランスフォーメーション推進計画を策定し、行政のDXを推進することとしており、ICTを活用した会議については、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
22	第3章 アクションプラン 3 計画の推進 (2)まち・ひと・しごと創生総合戦略としての取り組み	多様な主体との連携	・地方創生について、エリアマネジメント団体やその活動に対して積極的な後押しをするべきである。 ・エリアマネジメント団体を育てるとともに、官民連携の制度を活用して地域再生を進めてほしい。	1	【実施段階検討】 ・計画の推進にあたっては、多様な主体と連携・協働するパートナーシップを重視し、施策・事業の推進を図ることとしており、施策・事業の検討・実施の際の参考にさせていただきます。
23	第3章 アクションプラン 3 計画の推進 (3)持続可能な開発目標(SDGs)の視点と政策体系の関係	SDG1におけるジェンダー平等社会の実現	・戦略2次世代「やまなし」投資戦略政策1一人ひとりの個性を生かした教育の推進及び、戦略5快適「やまなし」構築戦略政策3良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくりが、SDGs目標5に該当するのではないか。	1	【反映困難】 ・戦略2次世代「やまなし」投資戦略政策1一人ひとりの個性を生かした教育の推進では、少人数教育の導入等による教育環境の充実を目標としているため、SDGs目標5には該当していません。 【修正加筆等意見反映】 ・戦略5快適「やまなし」構築戦略政策3良好な生活環境と地域を支えるコミュニティづくりでは、年齢や性別、国籍等に関係なく誰もが幸せを実感できる社会づくりに取り組むため、SDGs目標5に追加します。

【修正加筆等意見反映】	4
【記述済み】	8
【実施段階検討】	8
【反映困難】	4
【その他】	1
計	25